



	10月1日現在	前月比
男	14,569	- 7
女	14,840	+ 5
計	29,409	- 2
世帯数	6,847	- 4



みんなで交通安全

このほど小桜小学校で、同小学校、朝日小学校、小桜保育所の子どもたち約380名とその父兄を対象に、交通安全教室が開かれました。

同教室は、小桜農協が農協共済活動の一環として石岡警察署の協力を得て実施したもので、横断歩道の正しい渡り方、自転車の模範演技のほか、父兄を対象に立哨指導のあり方などの指導がありました。また、白バイやパトカーの展示（写真上）、県警音楽隊の演奏、マーチングドリルなどが披露され、子どもたちは大喜び。最後に交通安全宣言を全員で読み上げ、色とりどりの交通安全祈願の風せんを、澄みきった秋空に飛ばし（写真左）幕をとじました。

主 内 容

○あなたの意見を町政に反映……………2・3P

○議員定数2名減らし20名に「議会から」……………4P

○排禍ばやし養成講座も計画「社教のひろば」……………5P

○お答えします—わたしが望むこと！……………10P

を町政に反映

町民参加をより多く

「町長へのたより」と

町政モニター制度が発足

町政は、すべての町民のみなさんに参加いただき、みなさんと共に考え、知恵を出し、協力し合って進めていくことが大切です。

そこで、町では、公聴事業に本格的にとりくみ、このほど、「町長へのたより」と「町政モニター」制度を発足し、あなたのご意見を「希望とやすらぎの町づくり」に反映させようとするものです。

課新設で

公聴部門を強化

町では、住民の意見、提案などの声を聴く「公聴」の仕事を持っていきます。

これまで、この業務は、四



年前からはじめた月二回の「みんなの声を聞く日」や各種学級の中に組み込まれる「町政学習」、又は希望による座談会などによって行われてきました。

しかし、町民のみなさんに「等しく意見を述べる機会を与える」には万全でなく、公聴業務の強化を必要としていました。

そこで、本年六月の機構改革によって、広報課の新設に伴ない公聴係がつくられ、充実に大きく踏み出しました。

広報課では、県内他市町村の現況を調査、種々検討した結果、本年度から、当町では初めての試みとして、町長へのたより「町長さんこんにちは」と「町政モニター」制度を発足させることになったものです。

ハガキのたより

「町長さんこんにちは」

を全戸に配布

町長へのたより「町長さんこんにちは」は、ハガキのたよりを全戸に配布し、身近な問題や、町の施策に対する意見、要望、提案などを折に

各戸配布の町長へのたより



ふれ出していただきます。

あなたからのご意見や提案などは、役場内部で検討し、回答の必要なものは、早目に返信をし、直ちに対処しなければならぬものは、速やかに実施したりします。

また、建設的な意見は、広報紙などで紹介して、あなたと共に心のふれあう町づくりをすすめていく考えです。

町政に対するご意見、要望をお持ちの方は、気軽に生活用ください。

あなたの意見が、希望にみちた八郷町をつくります。

あなたの意見

心のふれあう町づくりへ

モニターは

二十五名、任期一年で

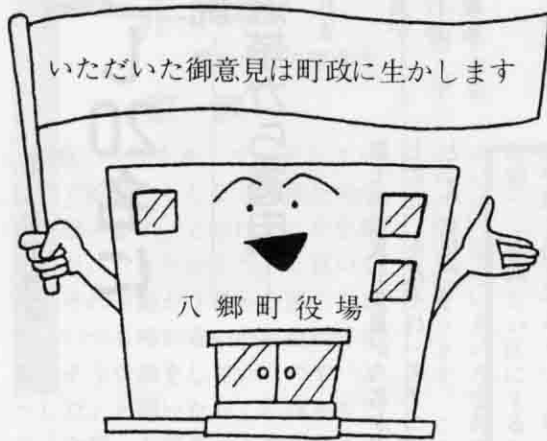
町政モニター制度は、町内に居住する二十歳以上の人で、各地域、各層から二十五名以内（うち一般公募五名以内を含む）の方々に、モニターを委嘱いたします。

任期は一年ですが、本年委嘱する第一期のモニターは昭和六十四年三月三十一日までとなります。

モニターの活動は、①モニター通信、②アンケート調査、③モニター会議、④施設見学

などで、町が現在進めている施策について、よく知っていたら、町の将来のあり方などについて、ご意見や提案を随時に出していただきます。

また、地域の人びとの意向や、見聞きした美談・善行など明るい話題もモニター通信で結びます。



モニターから寄せられたご意見や提案は、「町長へのたより」同様、町づくりの企画や町政執行の資料にするほか、関係課等に送付して必要とされるものについては、回答いたします。

豊かな自然環境に恵まれた八郷町を、より豊かで健康的な希望とやすらぎの理想郷とするために、あなたの町づくりの参加を願っています。

町政モニターを募集します

町政に対し、自由で清新で率直なご意見をお聴きし、町民参加の町政を推進するため、町政モニターを募集します。

- (1) 募集人員 5名
- (2) 応募資格
町内に居住する20歳以上の方で、常勤の公務員等の公職及び他のモニターになっていない方。
- (3) おしごと
モニター会議、施設見学会への出席及びモニター通信、アンケート調査の提出等です。
- (4) 応募期限 10月31日
- (5) 応募方法及び問い合わせ先
電話で役場広報課☎(3)1111、内線42、69へお申し込み及びお問い合わせください。

町長との対話

「みんなの声を聞く日」

もご利用を

町民と町長の対話の場として設けられている「みんなの声を聞く日」は、今後も行います。

「みんなの声を聞く日」は、毎月一日と十五日午前九時から正午まで、町長室で、予告なしでおいでいただいた町民と対話するものです。

これまで四年ほど行っていますが、毎回平均四〜五人程のみなさんが訪れ、要望・苦情・提案などを話題に対話が行われています。

期日が変更になったときは、「広報お知らせ版」でお知らせします。

あなたもお気軽にお出かけいただき、話題を提供してください。

翌年度は

町政教室も開催

今年度新たにスタートした二つの事業に続き、翌年度からは、町政教室も開始する予定です。

また、昭和六十四年度からは、バスによる対話教室「八郷町民号」の運行計画があり、あなたの意見が、更に町政に反映できるよう配慮されます。

議員定数2名減らし20名に

定数削減議員提案で実現

12月の選挙から適用

町議会第三回定例会が、九月十日から二十一日までの会期で開かれました。

今回の議会では、町長が提案した七議案と議員が提案した二議案のほか、陳情及び請願の審議が行われました。なお、提案された議案は、いずれも原案どおり可決されました。

議会が率先改革へ

町議会議員の定数が二十二名から二十名に削減、ことし十二月に予定されている町議会議員一般選挙から適用されます。

町議会では、議会内に設けられた行政改革特別委員会の中で、議員定数の削減を協議、議会運営の効率化、経費の削減等を検討してきました。また、議会全員協議会、議会運営委員会の中でも定員の削減について、たびたび協議がなされてきました。この結果、

町議会議員定数の推移

期 間	定 数
昭和30年1月1日	(合併特例)
昭和30年12月31日	122名
昭和31年1月1日	(法定定数)
昭和42年12月31日	30名
昭和43年1月1日	(条例定数)
昭和62年12月31日	22名
昭和63年1月1日	(条例定数)
	20名

昭和43年からは全町一区制、それ以前は地区別小選挙区制。

行政改革推進のため、町財政などの状況も考慮し、このほどの定数削減となったものです。

また、今回の議員定数改正に伴い、常任委員会の委員定数が変更され、教育民生委員会委員が七名から六名に、産

業土木委員会委員が八名から七名に、それぞれ一名ずつ減となりました。

保母給料を是正

これまで町の保母職員の給料は、一般の職員に対して二号給ほど上位に設定されていましたが、これが、今後二年の間に一般職と同じに是正されます。なお、これに伴ない保

母手当が新設され、月額三千五百円が支給されることになりました。

この保母給料の引き下げは、議会からも要請が出されており、諸般の状況、その他いろいろな問題を慎

重に検討してきた結果、これまでの保母給料の上位格付けは、町給与制度上からも適当でないという結論に達したためです。

一般会計一億円を補正増

昭和六十二年一般会計予算に、収入支出それぞれ一億四百七十九万九千円を追加し、総額五十四億四千一百一十円となりました。

収入は、国庫支出金二百六十二万五千元、県支出金七千八百八十七万円、繰越金一千六十八万四千円、諸収入二百万円、町債七百三十万円の増額です。

支出の主なものは――、総務費、二百八十五万二千円の増額、産業文化祭補助金、自治宝くじの助成で行う子ども遊具施設整備費などが主なもの。

農林水産業費、八千九百二十三万三千円の増額。八郷・小桜両農協合併推進助成金、ふん尿処理などを行う畜産環境対策事業補助金、農林業同和对策事業工費請負代、両桁山寺農村集落センター整備事

業費などが主なものです。土木費、五百万円の増額。町道飯塚・山崎線改良工事費が主なものです。

教育費、四百三十九万四千円の増額。学校施設の落雷による故障を含めた電気系統の故障、汚水処理施設の機具の故障などの修理が主なものです。

また、国保特別会計予算の増額も行われ、収入支出、四百二十万円を追加し、総額十五億四千二百六十六万四千円となりました。

支出の主なものは、健康に対する正しい知識の普及啓発を図り、健康づくりを推進するための事業費などが主なものです。

職員の異動

十月一日付

〔配置換〕()内は旧所属

▼県フラワーパーク事業課長 補佐兼管理係長、村田寛(商工観光課)

▼商工観光課環境保全係長 栗崎孝夫(収納課)

〔新採〕

▼収納課主事 荒井弘一



社教のひろば



排禍ばやしの後継者も計画

充実！三年目の片野集会所事業

片野集会所事業は今年で三年目を迎えました。同和

教育の一環として偏見のない明るい社会を作るためこの事業を行っています。

内容は町内全域を対象とする事業と片野地区を対象とする事業の二つに分けて実施しています。

町内全域を対象とする事業

級、少年教室などがあります。

カラオケ教室の

講師は金指の島田行正さん。各自テープを持参しての

参加とあって、受講生はみなさん熱心な方ばかり。夜遅くまで練習の歌声がひびきわたっています。

婦人学級は十月二日開設しました。この学級は参加者一人一人が地域の仲間意識を高め、明るい家庭づくり、社会づくりに取り組むことをねらいとしています。

内容は「毎日の食事」「健康管理と体力づくり」「生活改善」「住みたい区にするためには」などいろいろな角度からの学習になります。この

片野地区を対象とする事業には、カラオケ教室、婦人学

級、少年教室などがあります。

各種講座の講師を募集

高齡化社会、余暇の増大により社会教育の必要性が各方面から強調されています。そこで一層の充実を図るため、各種講座、婦人学級及び家庭教育学級など公民館、社会教育事業の講師を募集します。

むかし覚えた伝統技能や趣味、特技をお持ちの方で、後継者の養成や技術指導をされたい方。また語学、歴史、音楽など専門的な教育指導ができる方。どんな分野でも結構ですので町民のみなさんの生きがいづくり、地域の教育力向上のためにご協力ください。

連絡先は中央公民館（☎三一六二六二）まで

片野地区の活性化と町の発展を目的とした集会所事業は、三年目を迎えます。充実してきました。

紙上講座



豊かな子の育成⑤

家族

校庭に大きな紙くずが落ちていたので拾おうとしたら「校長先生私が拾います」とかけよった生徒がいた。「ありがとう」と言いながらその行動がうれしく感じられた。いつも明かるい一年生の子が寂しそうな顔をしていたので「どうした」と聞いたら、しばらくして「今朝、お父さんとお母さんがけんかして」とぼたりと涙を流した。「頑張れよ」とその場は別れたが、あの子は一日どんな想いで過すのかと暗い気持ちになった。

家族は「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」という部分から成り立つ。父であるとともに夫、母であるとともに妻、娘であるとともに姉と、1人の個人が2つ以上の立場や役割をもっている。夫や妻としての役割が変化すると家族全体も変化する。子は常に家族全員から「愛されている」「認められている」「解ってもらえる」ことを望んでいる。明かるい助け合える家族関係が「豊かな子」をつくる条件だ。家族全体の人間関係を見直すことが大切である。

—飯島照雄社教指導員—

100歳むかえる木寄みちさん

総理や知事から祝状や金杯・銀杯

9月15日の「敬老の日」町の最高齢者、上青柳の木寄みちさんに内閣総理大臣の祝状と銀杯、知事の褒状と金杯が贈られました。

これは、木寄さんが今年度中に満百歳をむかえられるということ、長寿を祝って贈られたものです。

15日には、土浦地方福祉事務所の福祉課長が木寄さん宅を訪れ、おばあちゃんに直接お祝いが手渡されました。

木寄さんは、明治21年3月30日生まれ、来年の3月に満百歳をむかえ

られますが、「痛いところもなく、カラオケが大好き」と、毎日お元気に過ごされています。



13個のメダルを獲得

身体障害者スポーツ大会

第25回茨城県身体障害者スポーツ大会が、9月27日、笠松運動公園陸上競技場を会場に、約1,000名にのぼる選手をむかえて開かれました。

町からは、16名が参加し、肢体障害、視覚障害、聴覚障害の別に分かれて実施された競技で金・銀・銅合わせて13個のメダルを獲得しました。金メダルの獲得者は次のとおりです。

肢体 小松崎角（柿岡・60歳）＝走幅跳・100メートル（2個） 成田清（山崎・57歳）＝砲丸投 加藤とめ（小幡・71歳）＝ソフトボール投
視覚 上田恒守（小幡・64歳）＝砲丸投 **聴覚** 小松一（瓦谷・66歳）＝100メートル



町代表おしくも予選敗退

クロッケー・ゲートボール県大会

農協年金友の会のクロッケー・ゲートボール県大会が、9月26日、笠松運動公園で開かれ、地区予選を勝ちぬいた78チームが腕を競いました。

町からはクロッケーの部に林と柿岡の2チームが出場し、林チームは1勝1敗、柿岡チームは2敗で、ともに予選おちしました。

ゲートボールの部に出場した林チームは、玉造町の泉チームとともに予選で2勝を上げましたが、2試合の得点数の差でおしくもやぶれ、決勝進出はなりませんでした。



子どもの虫歯予防に貢献

歯科保健賞を受賞



町食生活改善推進協議会会長、田村文子さんが、歯科保健衛生の向上に尽力した団体、個人に贈られる「第1回県歯科保健賞を受賞しました。同協議会は、町が行っている1歳半児健診などに、減糖・減塩などの薄味のおやつを作り、子どもや母親に試食してもらうなどして、虫歯予防を兼ねた栄養指導にあたってきました。また、成人病予防の減塩食の普及など、幅広い活動を行ってきました。今回の受賞は、長年にわたるこれらの功績が認められたものです。



館婦人学級が

町政を聞く学習会

9月12日、柿岡館の婦人学級により、町政を聞く学習会が、館公民館において開かれました。

学習会では、町長から現在取り組んでいる町の施策として、①銘柄産地の指定等農業の振興について、②高齢化社会をむかえての福祉対策について、③新しい財源確保等のための企業の誘致、④町発展の基盤づくりとしての道路整

備、⑤フラワーパークを核とした観光農業の推進、⑥健康づく

りと医療体制の推進、⑦国保税を値上げせざるを得ない経過、そして、町のきびしい財政事情が説明されました。

質疑では、総合病院や図書館の設置など、いくつかの問題が質問され、活発な意見が交換されました。

学習会に出席された25名のお母さん方は、「町行政の一端を知ることができ、大変有意義でした」と好評でした。

5年生の部、朝日小が独占

第9回町民水泳大会



つくばねと園部が優勝

スポーツ少年団球技大会

スポーツ少年団球技大会が、9月12・13日の3日間にわたって総合運動公園を主会場に開かれ、軟式野球とバレーボールに熱戦が繰り広げられました。

軟式野球は、12チームが参加して予選及び決勝リーグが争われ、つくばねスポーツ少年団Aが優勝、準優勝は同じくつくばねB、3位は小幡スポーツ少年団でした。

バレーボールは、16チームが参加して予選リーグが争われ、これを勝ち残った4チームによって決勝トーナメントが行われました。結果は、優勝が園部スポーツ少年団

A、準優勝が小幡スポーツ少年団
A、3位が吉生スポーツ少年団A
でした。



第9回町民水泳大会が、9月6日、町民プールで行われました。

今大会は、朝日小学校が大活躍、特に5年生の部は全種目とも1位を独占しました。なお、各種目の1位入賞者は次のとおりです。

平泳ぎ ○小学4年以下男子 比企孔明(瓦会小) ○同女子 高根幸枝(柿岡小) ○小学5年男子 雨貝雅史(朝日小) ○同女子 緑川香織(朝日小)
○小学6年男子 君山直樹(朝日小) ○同女子 大貫久美子(朝日小) ○中学男子 桜井博(柿岡中) ○同女子 桜井友枝(柿岡中)
背泳ぎ ○小学4年以下男子 小林隼也(恋瀬小) ○同女子 高桑かお

り(園部小) ○小学5年男子 小澤安弘(朝日小) ○同女子 鈴木久恵(朝日小) ○小学6年男子 高田雄也(瓦会小) ○同女子 飯村真希子(園部小) ○中学男子 中村光弘(柿岡中) ○同女子 長谷川真由美(園部中)

自由形 ○小学4年以下男子 藤岡宏知(恋瀬小) ○同女子 桜井有希子(小幡小) ○小学5年男子 飯島寛之(朝日小) ○同女子 嶋田恵子(朝日小) ○小学6年男子 羽生正人(朝日小) ○同女子 桜井裕子(柿岡小) ○中学男子 藤岡俊文(有明中) ○同女子 齊藤はる美(園部中) ○一般男子 坪和伸行(瓦会)
学校対抗リレー ○小学男子 恋瀬小学校 ○同女子 瓦会小学校



太極拳同好会

ぼくらが主役最後の運動会

小桜小六年 中嶋 江美

「ぼくらが主役、最後の運動会」というのは、六年生全員で決めた運動会の目標です。

今までの私は、一年生のころから運動会が大きらいでした。かけ足はいつもびりり、黄色や赤や緑のリボンがもらえないまま、毎年運動会がすぎてきました。ときどき、年をとったおじいちゃんやおばあちゃん、びりり走っている私を指さして笑うのです。そんな時、私は、「あのおじいちゃんやおばあちゃん、私の事をびりり走っている

運動会が大きらいになったんだと思います。

でも、最後の運動会はちがいます。朝五時から起きてそわそわしている心を静めながら、私は「笑われてもいい。精いっぱい走ろう」と決心しました。

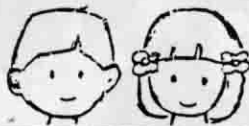
「よいいドン。」というピストルの音といっしょに、私たちのグループが百五十メートルを走り出しました。私はあと少しで、四位になれるところでした。その時、戸下先生が大きな声で「そこまできたら江美ちゃんぬかしてみろ。」といて応援してくれました。走り終わると、私は、先生があんなに喜んでくれたのにぬけなくて、くやしくてたまりませんでした。あと五メートルあったら四位に

入れたと思いました。

次は、「最後はキヤタビラ競走」という六年生の個人種目です。うどん粉の中のチョコレットを、口の中に入れてるときはびりりでした。でも私は、顔を真っ白にしながらい生けんめいに走りました。

へいぎん台をわたる時一人ぬかしました。キヤタビラでまた一人ぬかして三位になりました。私はうれしくてうれしくてたまりませんでした。生まれて初めて一つの緑色のリボンをもらいました。それは、どんな美しい宝石よりもピカピカと光ってきれいに見えませんでした。私の宝になりました。私は、最後の運動会で大きな思い出ができました。そして運動会が大好きになりました。このことが、ずっと前に戸下先生がおっしゃった「今だけの今、今が一生になる。」といつとこのかなあと思ひ、ぼくらが主役の最後の運動会を精いっぱいできて、忘れることのできない思い出になりました。

スクールゾーン



歯槽膿漏の予防

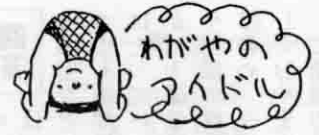
食べたらみがく

歯槽膿漏や虫歯の大きな原因は、歯についての汚れ(歯垢)をそのままにしておくことです。歯をみががらずにいると口臭を発したり、歯肉に炎症をおこしたりします。

- 食べ物がよくかめない、食事が楽しくないというお年寄りが多くいます。年をとるにつれて、どうしても歯を支えている歯ぐきや骨が弱くなり、様々な症状が出てきます。
- ①歯がグラグラする。
 - ②食べ物がかみきれない。
 - ③歯と歯の間にすき間がでる。
 - ④水がしみる。
 - ⑤歯肉から血が出る。

こうした症状のある方は、歯肉に炎症のある証拠で歯が注意信号を送っているのです。この注意信号を無視して放っておくと最後には歯が抜けてしまったり、また、身体にも悪い影響を及ぼします。この信号は、お年寄りにだけ

食べたあとは、歯を十分にみがきましょう。歯みがきも、ただみがけばいいというわけではなく、歯垢の取れるみがき方をしなければなりません。「みがいている」と「みがけている」では違います。歯と歯の間までブラシを入れ、ていねいにみがきましょう。子どもにばかり「歯をみがけ」と躍起になるより、まず大人が実行することです。そして歯の病気を早期発見、早期治療が大切です。何でもなくても年に二回くらいは、歯の定期検診を受けましょう。



富田 洋輔ちゃん (小見)

父 浩司さん 母 美江さん
昭和59年6月29日生まれ (二男)

家族からの一言

洋ちゃんは、いつもごはんをたくさん食べます。だから病気などしません。

お兄ちゃんと小さいころからケンカばかりしているせいか、とてもヤンチャな弟です。いつも元気で思いやりのある子に育ってほしいと思います。



②

下林

白田 正良さん (36)
幸子さん (34)

今月は、結婚十二年という戸内の白田正良さん幸子さんをお訪ねしました。「十二年なんてアツという間でした」というお二人です。

お二人で農業に取り組んでいるそうです。

正良 施設園芸と野菜を中心としています。野菜は農協との契約栽培です。

——いつも一緒に仕事してるわけですね。

幸子 いつも一緒なんですよ。二十四時間いつもね。友達みたいな夫婦です。仕事しながら冗談ばかり言って、二人で漫才やってみたいです。

正良 二人で仕事したほうが能率も良くなるし、三人分の仕事ができます。いつも一緒ですから、実際は、他の夫婦の十二年より長いものになるんじゃないかな。

——楽しそうなお夫婦ですね。

幸子 そうですね。友達もとても多いんですよ。二人とも若いころ青年団活動をして

いたので、そのころの仲間と今も親しく付き合っています。

正良 私はそのほか、後継者クラブとかユニセフクラブとかにも入ってましたから、とにかく友達が多いですね。その仲間と家族ぐるみで旅行に

行ったり、パーベキューをやったりしています。

幸子 そうなんです。「町中に広げよう友達の輪」って感じですよ。だんなさんの友達が多いってことは、奥さんの友達の輪も広がるってことです。

——どうもありがとうございました。

ご夫婦をご紹介ください。

正良 私の友達の一人なんです。私が柿岡の大枝正男さん啓子さんをご紹介します。



やまと文芸

短歌

吉田次郎選

永平寺のみがき抜かれし廻廊の素足に清し身のひきしまる

月岡 萩原照子

虫のねを窓辺にひとり聞きにつつ夏の過ぐるを佗しく思ふ

真家 川崎夫久

雷の多発の年程豊作と古老の話今新にす

東成井 石井好三

俳句

杉山 馬酔木選

皇子陵に泡立草は生すまじ

宇治会 友常 満里子

雨晴れて清がしき庭に法師蟬

東山崎 荒井吉夫

雨の日の九月の事を記す曆

瓦谷 桜井紅霞

俚謡

大木嶺月選

無けりや芋飯食べても居たに肉に文句をつける舌

根小屋 島田君子

友を呼び交い鳴く蟀を一人居に聞く秋の夜

大塚 友部 ゆき江

蝗飛び交ふ田圃の道も続く彼岸の寺詣り

下林 森田龍月

ありがとう

「変動の激しい社会に、一家が人並みに生活できるのは先達の方々や地域の方々の大きな支えあってこそと感謝申し上げます。ほんのわずかではあります。恵まれない人たちの一助にお使いいただき

ます。このような便りと共に、現金五千円が町へ届けられました。同じ方と思われる方が届けられています。いずれも主婦と記されているだけです。町では、さっそく恵まれない方々のために使わせていただきます。

わたしが望むことは！

お答えします

広報九月号で、高齢者の方々に「いま何を望んでいるか」をお伺いしましたが、今月はその中から二つほど、要望に対する回答を掲載します。

中央公民館でも

飲み食い

中央公民館では、飲み食いをさせないために、芸能祭などがあっても、弁当だけもらい帰ってこなければなりません。これでは利用者も少なくなってしまう。施設を作るより、フルに利用することが大切では——（深作 保）

回答

中央公民館での飲食は、講座室や研修室、会議室などについては、これまでも酒類以外でしたら自由にとつていただいておりますが、大講堂については、目的や内部の構造上からも喫煙を禁止、一切の飲食物を禁止しております。

ご指摘のように、芸能祭な

どで大講堂を利用し、昼食を用意する場合は、研修室か講堂で昼食をとつていただければ幸いです。

今後とも、快適な環境の中で研修や集会ができますよう、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

（中央公民館長）

日曜も福祉バス

の利用を

ほかの町では、日曜でも福祉バスを利用してありますが、八郷ではむずかしいようですね。（略）町でも日曜や祭日の利用を考えてもらえらうとい

回答

福祉バスは、お年寄りや心身障害者など福祉関係者のクラブ活動や保

健事業等への参加を容易にすることを目的としています。福祉関係者の多くは、平日でもこれらの諸活動が容易であると思われることと、土曜日はバスの整備や清掃のために、日曜及び祝祭日等は、安全運転保持のための運転手の休日としてバスの運転を中止しております。

ただし、全県的な規模で開催されるようなお年寄りや心身障害者の会合、各種の大会などには、日曜や祝祭日でもバスの利用をいただいております。

今後とも、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

産業文化祭に併せて

ことしは「健康まつり」も

ことしの産業文化祭は、十一月七・八日に中央公民館を主会場にして開催されます。

なお、ことしは、活力ある町づくりの基礎となる健康づくりを一層広めるために、「健康まつり」も併せて行われることになりました。

健康まつりでは、七日（土曜日）に健康相談や血圧測定、乳ガン触診指導、成人病予防食の試食、献血、そして八日

解とご協力をお願いいたします。（福祉課長）

10月29日に

県消防職員駅伝大会

県消防職員駅伝大会が、十月二十九日午前十時から総合運動公園——瓦谷T字路——小見広域農道十字路——月岡中村食堂前T字路を折り返す三十七・三キロのコースで行われます。

同大会は、二年に一回開催されており、八郷での実施は二回目、ことしは三十二チームが参加して開かれます。

の健康大会では、健康家庭の表彰や健康標語の発表及び応募作品の表彰が計画されています。

大会終了後には、ケーシー高峰さんらによる「笑いと健康」と題するアトラクションも企画されています。

産業文化祭、健康まつりについては、チラシ等でまた詳しくお知らせします。

八郷町の火災・救急出動件数

		9月中	62年累計
火災	物野他計	0件	9件
	建林	0	4
	その他	0	0
	計	0	13
救急	病通他計	22件	181件
	急交	18	105
	その他	7	85
	計	47	371

今月の納税

11月	10月
国民年金	町県民税
	国保税
	第4期
11月分	第3期

たばこは八郷町で買いましょう。

たばこ20本入れ1箱で約41円が町の収入となります。

